

木質化で生育環境改善

日本福祉大 保育所で実証研究

【半田】日本福祉大学の坂口大史健康科学部福祉工学科准教授研究室は、ヤクルトの東浦センター(愛知県東浦町藤江松本5の2)と産学で連携し、同センターの事業所内託児所を活用した「内装木質化による実証効果の研究」に乗り出した。

同研究は林野庁の補助対象事業として前年度に続き実施。昨年は子育て支援拠点事業所、学童保育所の2カ所で行い、「木質化によ



ヤクルト東浦センターの託児室で内装の木質化施工を行う学生ら

る効果を創造性テストなどで分析した結果、子どものストレス度を軽減し、創造性、生産性が向上できた」と(坂口准教授)という。

今回は、内装木質化により子どもの生育環境を改善し、安心して働ける場にすることでヤクルトで働く女性の社会進出にも貢献するのがねらい。センターの託児所は、1、2歳児を中心に8人が利用する。

木質化の施工は、研究室の学生らが実施している。坂口准教授は「本年度は、学童施設や高齢者施設でも実証研究していく」と話している。